

川桁地区の地域資源を活かした地域づくり

観音寺川周辺地区

猪苗代町

喜多方建設事務所
計画期間：H22～H22

地域づくりの方針

観音寺川周辺に今も残る河川の原風景を崩すことなく河川空間の保全に努めると共に、数多く存在する地域資源や整備された公共施設を活用し、自然環境を活かした地域づくり活動を行うことで、広域的な地域間交流を進め地域住民はもとより訪れる観光客も楽しめる持続可能な地域づくり活動を展開し、市街地の活性化や川桁地区の空洞化防止を図る。

主な事業内容

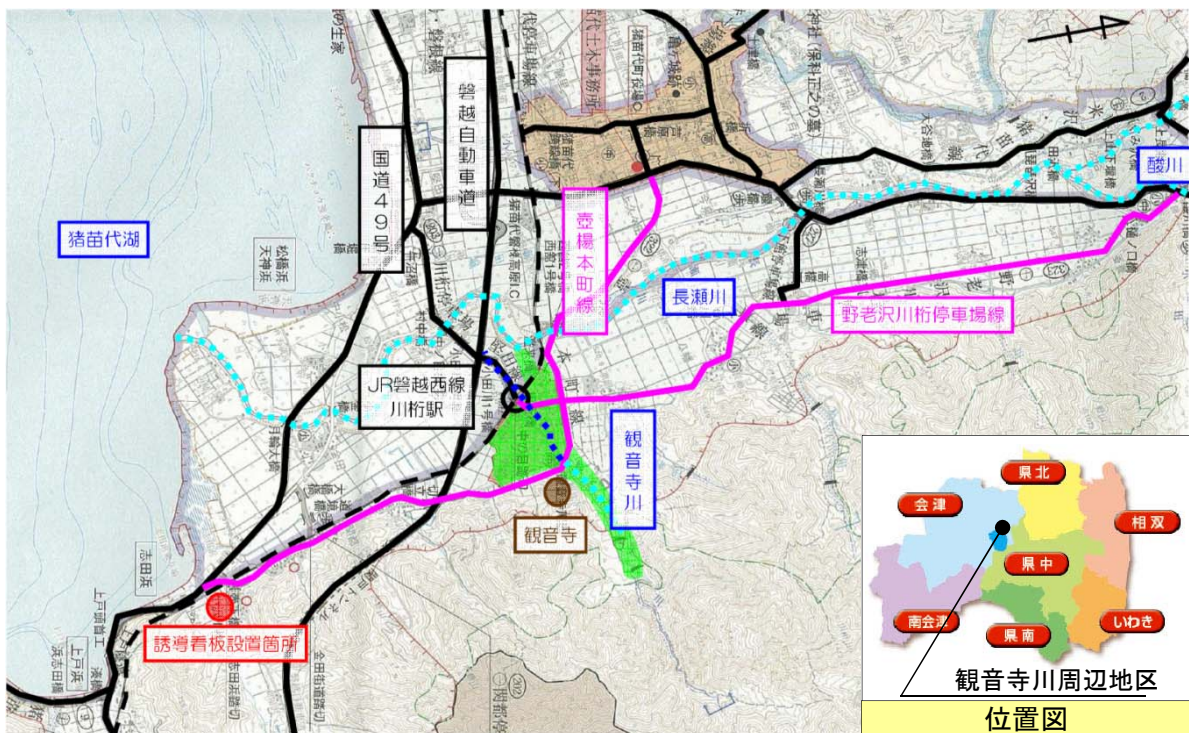
地域資源調査やアンケート調査結果を基に

地域プランを策定

しました。



事業概要図



地域の現状

猪苗代町の東端に位置する川桁地区には、観音寺、観音寺川神社、「高原列車が行く」のモデルとなった沼尻軽便鉄道跡地、リステルスキー場、さらには地区の中心部を観音寺川が流れる等、地域資源が豊かな地区です。特に、観音寺川については、河川等の改修が行われていないことから河川の原因風景と、地域住民の手によって植えられた約100本の桜が創り出す景観によって、春先には多くの観光客が訪れており、平成9年には、「日本桜の会」からの表彰を受けています。

また、沼尻軽便鉄道の旧停留所跡に猪苗代町により駅名標が設置されており、大正2年から昭和44年までの57年間にわたり、川桁地区と沼尻地区を結んでいた鉄道の跡地を巡ることができます。

各種地域づくり活動が地域住民や猪苗代町の手により実施されてきたが、地域間交流の拡大には繋がっておらず、市街地には空き店舗が多く、現在では商店が2軒、飲食店が1（営業は不定期）と空洞化が進んでいます。

地域づくりのあゆみ

平成22年

・ウォーキングイベント「懐かしの沼尻軽便鉄道を訪ねて」。

元気づくりの立役者たち

観音寺川の桜



沼尻軽便鉄道



地域の課題・今後の展望

・観音寺川沿線では春先に「観音寺川さくらまつり」を開催しており、訪れる観光客への「おもてなし」として地域住民が「桜のライトアップ」「休憩所の設置」「散策マップの作成」「御輿巡り」等を、沼尻軽便鉄道の跡地ちなる野老沢川桁停車場線沿線では、猪苗代町と地域住民が主体となり軽便鉄道ウォークを毎年実施しているなど地域活動が盛んに行われているところであるが、「観音寺川さくらまつり」や「軽便鉄道ウォーク」については県内外の観光客に周知されていない現状にあります。

事業の効果

■期待される効果

・川桁地区の豊かな地域資源を県内外に周知すると共に、地域住民の地域資源への認識を高め、懇談会等で策定する地域づくり活動計画の更なる活性化を図ります。

関係機関

- 福島県喜多方建設事務所企画調査課
- 川桁行政区住民

TEL : 0241-24-5707